

### (3) 予測結果

#### ① 土地の改変による個体の消失

##### ア) 個体の消失の有無

表-6.10.2(3)に示した予測対象種72種のうち、水生植物3種（イトタヌキモ、カワツルモ、タイワンアシカキ）については陸上植物の項目で、昆虫類12種（ヒメイトトンボ、マサキルリモントンボ、コナカハグロトンボ、ヤエヤマサナエ、ヒメホソサナエ、ミナミトンボ、ヒナヤマトンボ、マダラアシミズカマキリ、トビイロゲンゴロウ、コガタノゲンゴロウ、ヒメフチトリゲンゴロウ、コガタガムシ）については陸上動物の項目で既に検討を行った。よって、ここでは72種のうち残りの57種について検討を行った。

表-6.10.2(4)に、これら57種の確認状況及び造成工事による生息個体の消失の有無についてとりまとめた。このうち改変区域内では確認されなかった重要な種は、魚類7種、甲殻類15種、貝類23種、藻類1種の合計46種であり、改変区域内において確認された重要な種は、甲殻類5種、貝類6種の合計11種である。これら11種の確認地点を図-6.10.2(2)～図-6.10.2(12)に示す。

改変区域外のみで確認された46種（ジャノメハゼ、ヤエヤマノコギリハゼ、タメトモハゼ、タナゴモドキ、シマエソハゼ、コンジキハゼ、ルリボウズハゼ、ツブテナガエビ、ネッタイテナガエビ、ヒラアシテナガエビ、イシガキヌマエビ、ヤエヤマシオマネキ、アゴヒロカワガニ、ケフサヒライソモドキ、タイワンヒライソモドキ、ヒラモクズガニ、ニセモクズガニ、コウナガイワガニモドキ、トゲアシヒライソガニモドキ、オキナワヒライソガニ、クシテガニ、アシハラガニモドキ、マングローブアマガイ、ツバサカノコガイ、ニセヒロクチカノコ、アズマカノコガイ、アカグチカノコガイ、ドングリカノコガイ、カバクチカノコガイ、クリグチカノコガイ、シマカノコガイ、ヒロクチカノコガイ、ベッコウフネアマガイ、イトカケヘナタリガイ、ネジヒダカワニナ、スグカワニナ、ヒメウズラタマキビガイ、ゴマセンベシアワモチ、ナガオカミミガイ、トリコハマシイノミガイ、キヌカツギハマシイノミガイ、キヌメハマシイノミガイ、ホソハマシイノミガイ、オウトウハマシイノミガイ、マダラハマシイノミガイ、オオイシソウ）については造成工事による生息・生育個体の消失はないと予測される。

改変区域内で確認された11種（サキシマヌマエビ、オオヒライソガニ、ヤエヤマサワガニ、ミヤザキサワガニ、ヤエヤマヤマガニ、ムラクモカノコガイ、オカイシマキガイ、コハクカノコガイ、オキナワミズゴマツボ、イボアヤカワニナ、クルマヒラマキガイ）については、生息域が河川、開放水域及びその周辺などに限られており、移動能力も小さいことから、造成工事により改変区域内の生息個体が消失することが予測される。